

CASBEEさいたま2016年版
(仮称)岩槻人形博物館

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版
 ■評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート 実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						3.4
Q1 室内環境			0.40			3.3
1 音環境		3.0	0.15			3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	-	
1.2 遮音		3.0	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	-	
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		3.1	0.35			3.1
2.1 室温制御		3.3	0.50			
1 室温		3.0	0.38	3.0	-	
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-	
3 ゾーン別制御性	展示室系統、収蔵庫系統、事務所系統等でゾーニング	4.0	0.38			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		3.0	0.25			3.0
3.1 昼光利用						
1 昼光率		-	-	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		-	-	3.0	-	
3.2 グレア対策						
1 昼光制御	建物全周に軒下を計画	4.0	-	3.0	-	
3.3 照度		3.0	0.29	3.0	-	
3.4 照明制御		3.0	0.71	3.0	-	
4 空気質環境		4.2	0.25			4.2
4.1 発生源対策		4.0	0.50			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆をほぼ全面に使用	4.0	1.00	3.0	-	
4.2 換気		4.0	0.30			
1 換気量	30m ³ /人にて算定	4.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮	外気取り入れガラリと排気ガラリの離隔を6m以上確保	5.0	0.33	3.0	-	
4.3 運用管理		5.0	0.20			
1 CO ₂ の監視	展示室系統は外気量をCO ₂ 制御にて行う計画	5.0	1.00			
2 喫煙の制御		-	-			
Q2 サービス性能			0.30			3.7
1 機能性		3.7	0.40			3.7
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40			
1 広さ・収納性		-	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画	バリアフリー法、福祉のまちづくり条例の基準を満足	4.0	1.00			
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30			
1 広さ感・景観		-	-			
2 リフレッシュスペース		2.0	-			
3 内装計画	展示室の視認性、展示品保護を考慮した内装計画	4.0	1.00			
1.3 維持管理		3.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50			
2 耐用性・信頼性		3.9	0.30			3.9
2.1 耐震・免震・制震・制振		4.6	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	保有水平耐力を2.0倍以上確保	5.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20			
2.4 信頼性		3.6	0.20			
1 空調・換気設備		3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備	汚水中継槽を計画。節水器具(大:3.8ℓ、小:3.3ℓ)を採用	4.0	0.20			
3 電気設備	非常用発電機設置。受変電設備は屋上のげた基礎の上に設置	4.0	0.20			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5 通信・情報設備	停電対応電話機	4.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.6	0.30	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり			3.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高5.7m	5.0	-	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	1.00	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		展示室の積載荷重5000N/m ²	5.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.2	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	ピット内、天井内に配管	4.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		勾配屋根、瓦屋根、軒庇、杉板本実	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.6
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI: 0.59	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		トップライト	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.69	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.5	0.20	-	-	3.5
集合住宅以外の評価			3.5	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	中央監視にて分電盤、動力盤電力量を計量	4.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水器具(大:3.8ℓ、小:3.3ℓ)を採用。自動水栓設置	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		電炉材	5.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.20	-	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.70	-	-	
1	消火剤	不活性ガス(IG-541)消火を採用	4.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		排出率79%	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止		燃焼機器不使用	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	大型バスの待機スペースを敷地内に確保	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.50	-	-	
2	振動		3.0	0.50	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	照明の専門家による外構照明計画	5.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	